管機連Daily News

2026年10月5日（月）

≪ 今日の主なニュース ≫

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆8月の有効求人倍率1.18倍、前月から横ばい 失業率は2.5%に上昇

・厚生労働省が発表した8月の有効求人倍率は1.18倍と前月から横ばい。デジタルトランスフォーメーション（DX）による省人化やスポットワークの活用が進んで新規求人が減。8月の完全失業率は2.5%と前月から0.1ポイント上がった。有効求人数、有効求職者数ともに前月比0.7%増。主要産業別では宿泊・飲食サービス業が11.1%減と最も減少率が大きかった。

◆東京23区の消費者物価指数、9月2.7%上昇 8カ月ぶり2%超え

・日銀が発表した9月の全国企業短期経済観測調査（短観）で、大企業製造業の景況感が6四半期連続で改善。業況判断指数（DI）はプラス24だった。前回の6月調査から2ポイント改善。大企業製造業の業況判断DIは2018年3月調査以来の高水準となった。大企業非製造業は6月調査から2ポイント悪化のプラス35だった。悪化は5四半期ぶり。

◆8月新規求人3.4%減 最低賃金引き上げ前、企業に採用控えの動き

・厚生労働省が発表した8月の一般職業紹介状況によると、新規求人数（原数値）は前年同月から3.4%減で2カ月連続のマイナス。最低賃金の引き上げを前に採用を控える動きがみられた。8月の有効求人倍率は季節調整値で1.18倍と前月から横ばい。有効求人倍率は全国のハローワークで職を探す人について、1人あたり何件の求人があるかを示す。

≪ 業界ニュース ≫

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆全国の生コン出荷量、48カ月連続マイナス 人手不足や天候不順が影響

・全国生コンクリート工業組合連合会がまとめた8月の全国生コン出荷量は前年同月比5.2%減の416万2182立方メートル。48カ月（丸4年）連続で前年を下回った。人手不足などを背景に首都圏など大都市圏に加え、地方での出荷が伸び悩んでいる。全体の約7割を占める民間工事は3.7%減だった。

◆建機出荷額、8月5%増、北米やオセアニアがけん引

・日本建設機械工業会は8月の建設機械出荷額が前年同月比5.1%増の2618億円だったと発表。プラスは10カ月連続。輸出向けは5.6%増の1858億円で2カ月連続の増加。北米は10カ月連続、オセアニアは5カ月連続でプラス。銅などの資源価格の高騰で鉱山機械などが引き続き伸びている。機種別ではトラクタが261億円、油圧ショベルも690億円と好調。

◆国交省、BIMデータ審査の基本構想公表

・国土交通省は「建築確認・検査におけるBIMデータ審査の基本構想」を公表した。これは2029年に導入を予定するBIMデータ審査の全体像や検討工程、関係者の役割分担を示したもの。設計者や確認検査機関、BIMソフトウェアベンダーが共通認識の下で準備や開発を進めるための指針となる。

≪ 注目商品 ≫

■パナソニック ハウジングソリューションズ、業界最小奥行の新モデル

・従来品から奥行を約78ミリ短縮した業界最小奥行の622ミリでトイレ空間を広くし、便座面積を従来比105%に拡大して座り心地を刷新。デザインは独自の「四角丸（しかくまる）」を継承し、余計な凹凸を削ぎ落としたフォルムに進化。新たに、業界唯一の「セミフロートタイプ」を追加。



■三協アルミ、インテリア建材と床材にグレー系色拡充

・インテリア建材「LiVERNO（リヴェルノ）」とシート床材「Sフロア」のカラー体系を強化。「LiVERNO」の商品体系の1つである「セレクト」には、単色グレー2色を採用した新レーベル「ニュアンス」を設定。素材を引き立てる「カームグレー」と、自然素材と相性の「アースグレージュ」をラインアップ。



■LIXIL、循環型素材採用の人工木デッキ

・再資源化が困難な廃プラスチックと廃木材を融合した独自技術の循環型素材「revia（レビア）」を採用した人工木デッキ。木を彫ったような凹凸による美しい陰影と不均一で心地いい木質が特長。カラーは、ライトブラウン、ダークブラウン、グレーの3色。

